

夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより

令和7年度 第4号

編集：NSH推進課

発行責任者：石尾 和彦

人文科学コース

県外研修（首都圏）

8月21日（木）～22日（金）の2日間、2年人文・自然科学コースの生徒が県外研修に参加しました。本研修は、日本を支える企業や施設・研究機関を訪問し、実践的な知識や技術に触れることで、21世紀の社会を支えるグローバル人材としての資質・能力の向上を図ることを目的としています。

1日目：東京国立博物館、JICA 地球広場

東京国立博物館



トーハク（東京国立博物館）は、日本で最も長い歴史を持つ博物館で、12万件を超える、日本と東洋の美術と考古のさまざまな作品を保管しています。

生徒の感想

- 世界史に出てくるものや、有名な国宝など、本物がたくさん飾られていて、とても感動した。特に、最近習ったインド系のものが印象に残った。
- 教科書などで見たことのある国宝や文化財が実際に見ることができた。特に縄文・弥生時代の土器や埴輪を間近で見ることができた。また、「文化財の保護」のコーナーで保護・管理について学ぶことができた。

JICA 地球広場



午後からは、JICA 地球広場へ向かいました。展示会場の説明を受けた後は、体験コーナーで楽しみ、後半は、青年海外協力隊としてバングラデシュで活動をされた方のお話を聞きました。

生徒の感想

- もともと興味があって楽しみにしていたけど、想像以上に面白くていい施設だと思った。バングラデシュでの活動のお話を聞いて、話している様子がとても楽しそうでこっちまで楽しかったし、バングラデシュ愛がとても伝わった。家族に自分の働く姿を見せたくて写真を持って帰ったという話がとても感動的で、すごく心に残っている。

2日目：中日新聞東京本社、課題班別自主研修

中日新聞東京本社

「付度しない新聞」と自負する中日新聞東京本社にて研修を行いました。社内見学では編集等の様子を見ましたが、まだこの時間帯は落ち着いた様子で、取材中の記者も多いようでした。記者3名が忙しい中、取材での心構えや大事なポイント、ファクトチェックの作業などをお話いただき、後半の質疑応答では質問が相次ぎ、とても有意義な時間となりました。午後からの課題別班研修で、インタビュー調査などに役立てたようでした。



生徒の感想

- 新聞を書く際のファクトチェックがとてつもなく用意周到で驚いた
- 新聞をつくることには想像していたより繊細な作業が必要なんだと初めて知りました。新聞はとても丁寧に作られていると知って読んでみようかなと思いました。
- インタビュー術のお話では、①特に何を伝えたいのか、②自分でなければ聞けないことを事前によく考えて準備すること、③話やすい雰囲気にしコミュニケーションをうまく行い、インタビューに挑まなければならないのが印象的だった。

中日新聞東京本社研修後、課題班ごとに自主研修を行いました。インタビュー術を早速活用した班、研修先へ行くのに迷ってしまった班など、様々な体験をしての自主研修でした。

集合写真



生徒の感想

- 日比谷高校でお話を聞いて、本当にたくさんの学びがあった。課題研究の大きなヒントを貰ったので、今まで以上に探究を頑張ろうと思った。将来を考えるきっかけになったし、先生方の話し方がとても知的で尊敬できる方々だと思った。
- 自分達の計画と現実とのすり合わせが出来て、良かったのと、渋谷区役所の方が、私達の質問について真剣に考えて答えてくれたのが嬉しく、来て良かったと思いました。
- 国際子ども図書館に行きました。とても広くてたくさん参考になる本があり、同じ桃太郎の本でも少しずつ内容が違うことが確認できて良かったです。

